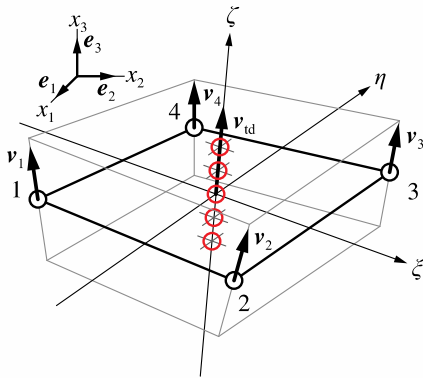
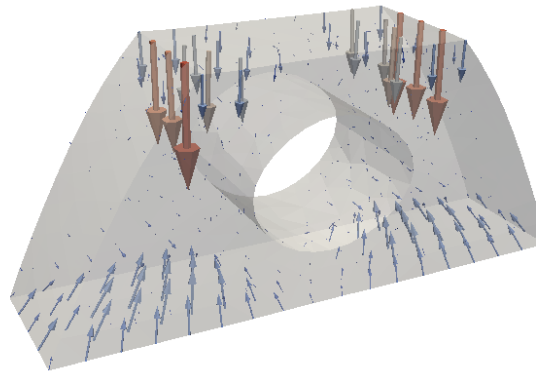


- 信頼される力学現象のコンピュータシミュレーション技術の開発 -

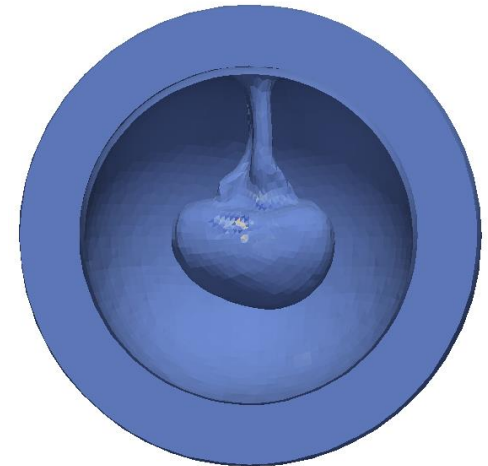
力学は自然現象を記述する最も基本的な原理の一つであり、力学現象を理解・予測するための理論、実験に次ぐ第3の方法としてコンピュータシミュレーションを用いる「計算力学」(Computational Mechanics)が、ものづくりを高度化する基盤技術として使われています。また、医療の高度化を計算力学の応用で実現する取り組みが近年注目されています。数理モデリング研究室では、このような計算力学の技術の信頼性向上のための基礎研究を中心としつつ、医療分野へ応用するための新たな技術開発を行っています。



板厚変化を考慮した
シェル要素



微圧縮超弾性体の大変形
問題における近傍問題



膜組織を考慮した内蔵のモデル化と
シミュレーション